

1/12 木原壯林さんからの情報

原発再稼働阻止、原発全廃のためにご奮闘の皆様(BCCでお送りしています)

大飯原発4号機再稼働に関する緊急行動のお知らせとお願い

「原発うごかすな！」行動ではご参加、ご支援をいただきありがとうございます。今年もよろしくお祈りします。さて、関電は、昨年11月3日より定期点検入りしていた大飯原発4号機を、1月15日に再稼働させようとしています。しかし、以下【1】～【6】のような状況にある現在、原発の稼働は理不尽の上なく、許されるものではありません。

【1】関電の原発に関連して、蒸気発生器配管の減肉、亀裂をはじめとする各種のトラブル、原発再稼働準備工事中の人身事故が頻発していますが、その原因調査や対策は、進んでいるとは言えません。

【2】関電は、使用済み核燃料の中間貯蔵候補地を、福井県外に2018年内に決定すると明言していましたが、この約束を反故にし、その際2020年内と期限を再約束したにも拘わらず、この約束もまた反故にしました。関電は、何の成算も無く「空約束」をし、平気でそれを反古にする、企業倫理のかけらも持ち合わせない企業です。

【3】昨年来の原発マネーに係わる不祥事の調査は、未だに納得できるものではなく、関電が企業体質を抜本的に改善したとするにはほど遠い状態にあることは、多くが指摘するところです。

【4】去る12月4日、大阪地裁は、大飯原発3、4号機の設置許可の取り消しを命じました。原子力規制委員会は、原発運転の認定にあたって、過去の地震の大きさの平均値を基準地震動として採用し、平均値に見合った耐震性で可としています。大阪地裁は、これは、「バラツキ」を考慮していず、過小評価であるとしたのです。

【5】大飯原発から100km圏内には、福井県のみならず、京都府、滋賀県のほぼ全域、大阪府、兵庫県、岐阜県の多くの部分が含まれます。このことと、福島原発事故では事故炉から約50km離れた飯館村も全村避難であったことを考え合わせれば、大飯原発で重大事故が起これば、原発周辺の住民のみならず、何100万人もの人々が避難対象になりかねないこととなります。避難は不可能です。

【6】いま、新型コロナウイルス(コロナと略)の感染拡大は留まるところを知りません。美浜原発、大飯原発でも、昨年末までに、各々7人の感染が確認されたと報道されています。原発内でコロナが蔓延すれば、検査や点検が行き届かなくなり、原発の安全が保たれなくなります。一方、コロナが蔓延する中で原発が重大事故を起せば、集団避難中のバスの中で、避難先で長く続く集団生活の中で、ウイルスの感染を防ぐことは不可能です。大勢の感染者が出ます。医療崩壊が起こります。少なくとも、コロナの終息が宣言されるまでは、原発の運転を見合わせる事が、最低限の企業倫理です。

以上の視点に立って、大飯原発4号機再稼働を座視することは出来ません。

「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、断固として、大飯原発4号機再稼働阻止と全ての若狭の原発の廃炉を求める次のような行動に起ちます。

日時;1月15日(金)12時30分

結集場所;おおい町大島、「はまかぜ交流センターし～まいる」付近

行動;13時より大飯原発前までデモ行進の後、抗議集会、14時頃関電への申入れ、15時30分より塩崎海水浴場駐車場に向けてデモ行進

皆様のご参加をお願いいたします。京都、大阪、滋賀からは配車いたします。

お問合せは、電話090-5676-7068(橋田)までお願いします。

「老朽原発うごかすな！実行委員会」・木原壯林(電話;090-1965-7102、E-mail:kiharas-chem@zeus.eonet.ne.jp)